

令和6年度 川崎市立東住吉小学校 学校運営方針

学校教育目標

*学びを人生に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

認め合い励まし合い
高め合う

まなみ
ななこ

こころ
やさしい子

やる
気がある子

かん
がえる子

主体的に粘り強く
取り組む

*未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成

*生きて働く
「知識・技能」の習得

自分の良さに気付き
自己肯定感を育む

自ら課題を見つけ
考える

すこ
やか

「なるほど！もっと知りたい！やってみよう！～TSK&UDL～」

多様な子ども一人一人が主体的な学習者となるように、令和の日本型学校教育（個別最適な学び・協同的な学び）の在り方について研修、研究を進める。UDL 授業への挑戦。

授業内容や指導方法の工夫を検討し、授業改善に取り組む
日々の当たりの授業を見つめ直し、授業改善を行っていく。子ども達の実態をしっかり見取り、「学びの楽しさ」「わかる・できる実感」を大切にした授業づくりを行う。

一人一人を大切に、多様性を受け止める支援教育の充実～誰ひとり取り残さない支援を～
すべての児童が安心して過ごせる温かな学校・学級・環境づくり、学びのユニバーサルデザインを推進する。教職員同士がつながり、連携・協力して支援にあたる。

特別活動を大切に
した学年・学級経営の充実
児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な人間関係を築く。児童の興味や関心が広がる経験や体験を大切にする。振り返りや評価も充実させる

人間としての在り方
生き方の軸をつくる
自己有用感や規範意識、人との関わる力等社会的自立に向けて必要な能力や態度、共生・協働の精神をすべての学校教育を通して育む。

- ・東住吉小学校におけるインクルーシブ教育の理念や推進について全教職員で共通理解をもち、児童支援の3次的支援システムを充実させる。
- ・児童や教職員が安心・安全に過ごすことのできる教育環境を整える。防災・防犯計画の見直しを行い、それらの教育も充実させる。
- ・支援が必要な児童の実態把握のために連携や相談を大事にする。課題や問題を担任や学年で抱え込まず学校全体のこととしてチームで解決にあたる。「いじめ防止基本方針」について共通理解をもち、機能させる。子どものSOSを見逃さないようにして、未然防止に努める。
- ・すべての児童がわかる楽しい授業づくりを実施し、個別最適・協働的な学びを進める。価値ある授業研究を行う。
- ・研修、研究を充実させる。外部講師から学ぶと共に、校内での学び合いも行っていく。外部の研修で学んだことはフィードバックしていく。
- ・学級活動や児童会活動の目的や内容を明確にし、丁寧に取り組む、児童に話し合いの力をつける。たて割り活動や児童の思いや考えを大切にした学習活動を充実させ、一人一人が活躍できる場を増やし、自己肯定感を育てる。
- ・授業改善・授業力の向上に努める。日々の授業と共に、実施されている教育活動について、目標、内容や方法等については振り返りを行い次に生かしていくようにする。指導と評価の一致と評価の充実をめざす。
- ・多様な学びの保証。UDL 授業実施。GIGAスクール構想ステップ2・3へ。キャリア在り方生き方教育、共生共育やSDGsの取り組みについて確認していく
- ・学校評価等を生かした学校改善に努め、保護者や地域と共に歩む学校を目指す。
- ・教職員一人一人が主体的に学び続ける姿勢をもち教師力を高めていく。職場内において日常的な職務を通して、必要な知識や技能等を高めていく